

3/10

第2回「SAKAI CUP」開催

3月10日(日)、境町アーバンスポーツパークにて、地域おこし協力隊の稲葉充秋さんが主導して企画・運営を行った、第2回目となる境町発のBMX フリースタイルパークの大会「SAKAI CUP」を開催しました。

本大会には、町内のみならず全国から33名が出場し、数々の大会のエリートクラス(最上位クラス)で優秀な成績を収めている高木聖雄選手など、トップレベルの選手が出場したほか、境町での無料体験会をきっかけにBMXを始めた境町在住を含む子ども達も出場しました。



全員集合して記念撮影

3/17

境町子どもまつりを初開催

3月17日(日) 町民体育館にて、境町子育てシェアタウン推進事業の一環として、「境町子どもまつり」を初開催しました。地元の事業者や飲食店・地域の担い手の方達等20以上のキッチンカー・ブースが出店し、町内外1,000名以上の方が参加、さまざまな体験で笑顔が溢れました。

自動運転バスの試乗会も大盛況で「初めて乗りました」「これからの生活でも利用してみたい」等の声が寄せられました。住民同士の絆が深まり、イベント後もアプリを活用したモノの譲り合いなどが続いています。



赤ちゃんハイハイレースの様子

飲食店エリア



スタッフ集合写真

スポーツ

3/14

第68回境町グラウンド・ゴルフ協会大会

会場：ふれあいの里 (32ホール) 出場者数：255名

- ◆男子の部 (敬称略)
 - 第1位 中岡 功 (大歩) 69打
 - 第2位 海老原昌嗣 (伏木北部) 69打
 - 第3位 松崎 實 (松岡町) 70打
- ◆女子の部 (敬称略)
 - 第1位 田中 典子 (上小橋) 70打
 - 第2位 小河原光子 (若林本田) 71打
 - 第3位 渡邊 銑 (内門新田) 71打



後列：左から 海老原さん、中岡さん、松崎さん
前列：左から 小河原さん、田中さん、渡邊さん

4/24

第30回境町いきいきクラブ連合会ペタンク大会

会場：文化村グラウンド 出場者数：150名

- 優勝 栗山あやめ会 B
- 準優勝 栗山あやめ会 A
- 第3位 七軒会 B
連台いきいきクラブ共楽会 A

- ◆参加クラブ：16クラブ
- ◆参加チーム：27チーム



栗山あやめ会の皆さん



サカイイタチ

おしえて 町長さん



境町長 橋本 正裕

～境町が大家さん？ 稼げるしくみ「境町モデル」の巻～

施設名	家賃等 町への収入 令和5年度見込み
モンテネグロ会館	18万円
S-startup	45万円
S-study&heart	144万円
S-Alohapark	120万円
S-cafe (Oyako 食堂 ごはんの樹)	36万円
S-ブランド (ほしいもの百貨カフェ)	120万円
S-Lab 2nd	864万円
S-Lab 3rd	225万円
S-Lab 4th	195万円
S-wave	798万円
小児科病院 + 院外薬局	390万円
ソーラーパネル	1,700万円 (寄付)
さかいサンド	360万円
河岸の駅さかい	204万円
8代葵カフェハワイ 境店	920万円
道の駅さかい レストラン茶蔵	500万円
FOOD TERRACE SAKAI	120万円
wo-29 Butchers	1,061万1,000円
パークホテルさかい	120万円
PFI事業 (アイレットハウス)	848万7,000円
定住促進戸建て住宅 定住促進住宅 町営住宅	2,600万円
収入合計	1億1,388万8,000円

移住者が増えたり、借金減ったり成果が出るのはわかるけど、家を作ったり、たくさん建物建てたり、そんなにお金かけて大丈夫なの？

境町では、国の補助金を獲得し、町の持ち出しをなるべく少なくするように工夫して、新しい建物を作っています。さらに、建てた施設を民間企業等に貸し出して、家賃収入を得ています。左の表の通り**昨年度の主な家賃等収入は約1億1,388万円**になりました。家賃収入があることで、町が使った持ち出し分のお金を最終的に全部回収できます。また、回収後は、プラスの収入源になります。移住定住促進住宅については、これまでにマンションタイプ4棟108戸、戸建て51戸が完成しています。この**移住者向け住宅が大人気で、5年間100%満室**、さらに、**境町へ1,000万円以上の収入が入っています。**

家賃以外にも、新しい収入源を開発しています。町長に就任してすぐ、町の遊休地や公共施設の屋根を利用した太陽光発電の売電を始めました。売上のうち、修繕費や諸経費を除いた分を毎年町に寄付しており、8年で**町の収入に約1.5億円**が伸びています。他にも、境古河IC周辺を開発して工場を誘致したこと、今後、固定資産税等の**収入が継続的に町に入ってくる**ようになります。

太陽光売電 (境ソーラー) 売上&寄付額

年度	売電金額	寄付金額
H27年度	3,525万円	800万円
H28年度	6,890万円	2,300万円
H29年度	6,684万円	1,898.5万円
H30年度	6,520万円	2,033万円
R01年度	6,186万円	1,800万円
R02年度	6,269万円	2,130.4万円
R03年度	6,128万円	1,700万円
R04年度	6,574万円	1,700万円
合計	4億8,776万円	1億4,362万円

家賃以外にも、新しい収入源を開発しています。町長に就任してすぐ、町の遊休地や公共施設の屋根を利用した太陽光発電の売電を始めました。売上のうち、修繕費や諸経費を除いた分を毎年町に寄付しており、8年で町の収入に約1.5億円が伸びています。他にも、境古河IC周辺を開発して工場を誘致したこと、今後、固定資産税等の収入が継続的に町に入ってくるようになります。

新しい工場ができたり、施設ができると安定した収入が増えるのね

たくさん施設を作ると、お金を使っているように見えますが、実は境町では逆にお金が入ってくる仕組みになっています。これが「境町モデル」です。施設ができたことで雇用も増えています。例えば、さかいまちづくり公社では、当初3人だった従業員が184人に増加しました。なんと、そのうち43人が60代以上の元気なシニアの皆さんです。

令和6年度は新しく**オンデマンドのバス運行がはじまります**。免許を返納した方や運転が困難な方も、病院やスーパー、銀行などに行けるようになります。また、自動車を活用したサービス「医療Maas」による眼科検診も引き続き行います。行政区の公民館等、ご自宅の近くで眼科検診を受けられるので、これまでに23回実施して215名の方が受診しています。緑内障や白内障などの病気が、早期発見早期対処が重要です。他にもフレイル予防の事業や葉酸サプリ事業など、境町の皆さんがいつまでも健康で、もっと便利に、いきいきと暮らせるための取り組みを行なって参りますので、町民の皆さまも、ぜひ積極的にご参加ください！

境町は色々やって羨ましいってヨソの町でも言われるよ

たくさん施設を作ると、お金を使っているように見えますが、実は境町では逆にお金が入ってくる仕組みになっています。これが「境町モデル」です。施設ができたことで雇用も増えています。例えば、さかいまちづくり公社では、当初3人だった従業員が184人に増加しました。なんと、そのうち43人が60代以上の元気なシニアの皆さんです。